

3 5 持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界会議 開催に向けた準備等について

（財務省、内閣官房、外務省、文部科学省、環境省）

【内容】

- (1) 世界会議を安全かつ円滑に開催し、多くの成果を上げ、世界から高い評価を受ける会議とするため、開催地と連携して万全な準備・運営体制を構築するとともに、必要な経費について、十分な予算を確保すること。
- (2) ESD推進の意義を広く国内に浸透させ、開催機運を盛り上げるため、国において、普及促進の取組を強化するとともに、必要な経費について、十分な予算を確保すること。

（背景）

「国連ESDの10年」（2005年～2014年）の活動を総括するための最終年の会合のうち、閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合を2014年に愛知県・名古屋市で開催されることが昨年9月に、また、本年8月には会議名称、目的、日程等が決定された。

当地では、本年5月に、県、名古屋市を始めとする県内市町村、地元経済界、教育関係機関等で構成する支援実行委員会を設立し、会議の安全で円滑な運営をサポートするとともに、開催機運の盛り上げや、会議の開催をきっかけとしたESDの普及啓発や取組の促進を図っている。

来年度は、会議の開催準備及びESDの普及促進にとって、大変重要な年であり、地元では、開催支援の詳細な計画を作成するとともに、開催1年前や開催年となる2014年当初における節目イベントを実施するなど、精力的に普及啓発に取り組んでいくこととしている。

主催者である国においても、こうした地元の取組と連携した形で、会議の成功に向けて万全な準備・運営体制の構築、国内でのESDの普及促進の取組の推進、また、これらを行うために必要な経費について、予算の確保が必要である。

(参 考)

持続発展教育（E S D）に関するユネスコ世界会議の概要

開催日程：2014年11月10日（月）～12日（水）
（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）
11月13日（木）には、日本国内の関係者によるフォローアップ会合を開催

開催場所：名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）（予定）

主 催：国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、日本政府

参加規模：1,000人規模（ユネスコ加盟国は195カ国） 2012年9月現在

目 的：「国連持続可能な開発のための教育の10年」に活動を振り返り、2014年以降の方策について議論を行う。



名古屋国際会議場
（会場予定地）

地元の取組状況

- | | |
|------------|--|
| 2005年（H17） | ・「国連E S Dの10年」開始（～2014年まで）
・愛知万博の開催 |
| 2010年（H22） | ・生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催
・愛知県が誘致表明 |
| 2011年（H23） | 1月 ・誘致委員会準備会を設置
4月 ・誘致委員会を設置
6月 ・国に開催提案書提出
・関係省庁連絡会議において開催地決定（愛知・名古屋）
9月 ・知事、議長がユネスコ本部（パリ）を表敬訪問
11月 ・支援準備委員会を設立 |
| 2012年（H24） | 5月 ・支援実行委員会を設立 |